

# はにわ通信

No. 293 令和元(2019)年8月号



## 【夏季企画展がはじまっています！】

古墳時代(3世紀後半～7世紀)には、有力者は古墳を造り、そこに葬られていました。古墳には、長さ400mを超える巨大な前方後円墳から、直径10mほどの小さな円墳が集まった古墳群まで、様々な大きさや形があります。

7月20日から始まった夏季企画展「みえの古墳～こんな古墳もあるんです!～」では、県内の墳丘規模や古墳の全長が比較的小さな古墳から出土した資料を展示しています。

今回は、そのうちの一つ浅間古墳群の3号墳を紹介します。

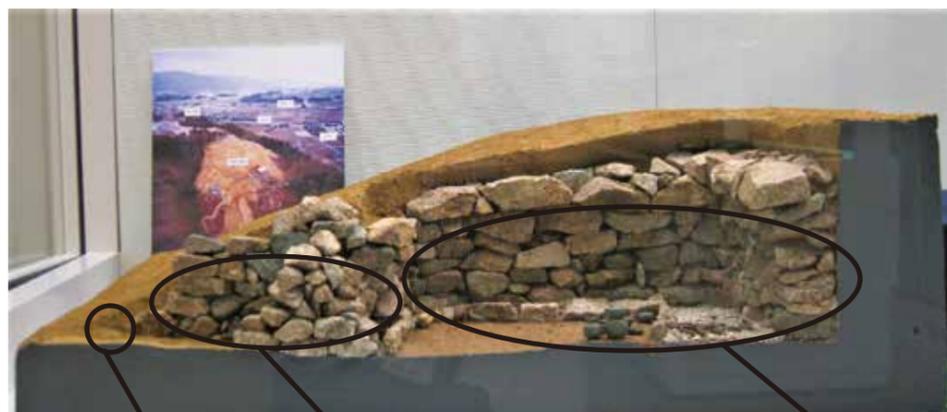
## 【技術の高さ】

浅間古墳群は、松阪市立野町口南戸にあります。6世紀から7世紀中頃までの円墳12基が集まった古墳群です。その中に市内では古い時期とされる横穴式石室をもつ直径12mの円墳である3号墳があります。石室とは壁や天井が石でできた部屋で、棺が納められた場所のことです。横穴式石室は、棺を納めた部屋とそこへつながる通路からできています。

浅間3号墳の石室内部は、床面から1mの所で石を内側に傾けて積み上げ、ドーム状の天井部になるような工夫がされています。

天井の高さは1.5mほどで、通路にいたっては、人がはってようやく入れるほどの低さです。全国的にみれば小さな古墳かもしれませんが、地域の有力者のために石を運び、石を交互に積み重ね、頑丈な石組みを造っていった1500年も昔の人たちの技術の高さには驚かされます。

6世紀以降、松阪市の古墳では浅間3号墳のような横穴式石室が広まっていきます。横穴式石室は、一度死者を葬った後、入口を開ければ別の死者を葬ることができる再使用が可能につくりになっています。



入口 通路 棺を納めた部屋

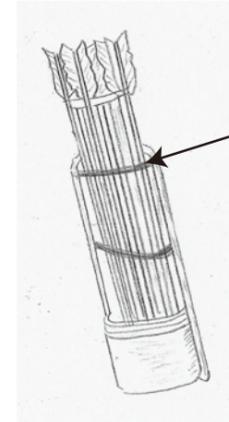
横穴式石室の内部を横から見た模型

## 【貴重な出土品】

浅間3号墳の石室の東側からは、頭部の骨が見つかりました。そのため被葬者の遺体は、頭を東向きにしていたと考えられます。頭部の左側には鉄製農具の鋤鋤と矢を入れたままの胡籬(矢を入れる入れ物)が立てて置かれていました。右側には鉄刀と刀子(小刀)が並べられていました。

胡籬金具は、3号墳から出土した貴重な出土品です。金具の表面には金箔が貼られ、点が連なっています。金箔が貼られるほどですから埋葬者は、かなりの有力者だったのでしょうか。ただ、入れ物となる布と木の部分はなくなってしまっていたのが残念です。

浅間古墳群をはじめ、さまざまな古墳からの出土品をぜひ見に来てください。(担当)



胡籬

右の写真はこの部分



胡籬金具

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

8月の休館日は、5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、  
9月の休館日は、2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)です。  
開館時間は9:00～17:00です。



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)

【はにわ館】 入場料100円(18歳以下無料) \* 入館は16:30まで

- 第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ■夏季企画展「みえの古墳～こんな古墳もあるんです!～」7/20(土)～9/8(日)  
「キッズミュージアムトーク」 8/25(日)10:00～11:00 ※事前申込不要

## 【ギャラリー無料】

- 第1・2G ■まつさかのほいくえん園児造形展～まつさかのちっちゃなアーティストたち～  
7/27(土)～8/4(日)9:30～16:30
- 第1G ■色々展2019 8/9(金)～12(月)9:30～17:00 ※最終日は16:00まで
- 第1・2G ■第76回 松阪美術協会展 8/25(日)～9/1(日)9:00～17:00 ※最終日は16:00まで
- 第3G ■森川久写真展「木偶」5 8/30(金)～9/1(日)9:00～17:00 ※最終日は16:00まで

## ★夏のイベント★

- その1 ★中学生ボランティアガイド  
7/27(土)～8/4(日) 平日は13:00～15:00、土・日は10:00～12:00、13:00～15:00 7/29は休館日  
※市内の中学生が第1展示室の展示解説をします。実施時間帯は入館料無料
- その2 ★スタンプラリー 8/3(土)、4(日)9:00～16:00まで
- その3 ★ワークショップ 「矢じりネックレスづくり」8/22(木)10:00～12:00 参加費500円  
※7/20(土)から電話予約受付中、(定員20名)
- その4 ★キッズミュージアムトーク 8/25(日)10:00～11:00 ※事前申込不要